

Q5

補聴援助システムについて



○補聴援助システムとは

聴覚障害児にとって、騒がしい場所や話し手と距離が離れている場所では、言葉の聞き取りが難しい場合があります。補聴援助システムとは、そのような場面で、話し手の声を専用のマイクから直接、補聴器や人工内耳に届ける事ができるシステムです。騒音や距離などによる影響がある程度抑えられ、話し手の音声優先的に届きやすくなります。

*有効な場面

補聴器や人工内耳が周囲の騒音を拾ってしまう騒がしい場所や、反響の多い場所、話し手との距離が離れている場所で効果があります。



補聴援助システムは、以下の4種類があります。

- ① 磁気誘導ループシステム
- ② 赤外線補聴システム
- ③ FM補聴システム
- ④ デジタルワイヤレス補聴援助システム

上記の中でも多く利用されているのが、④デジタルワイヤレス補聴援助システムです。

基本的には、話し手がマイクを首からかけて使用しますが、グループディスカッションなどの場面でも、使用することができます。設定をグループモードに変更し、グループの中心に置くことで、話し合っている人のそれぞれの声を拾って補聴機器まで届けることのできるものもあります。

また、音声を再生する機器やスマートフォン、タブレットなどにつなげることでクリアな音声を聞くこともできます。



授業で使う場面は人によって様々です。対象の子どもと補聴援助システムを使用する場面を相談して活用しましょう。